



伊豆の国市立葦山中学校 学校だより

学校教育目標

「明日に希望を持ち今日を頑張る生徒」

重点目標

「かしこく考え やさしく接し たくましく生活する」

# 葦中だより

住所:伊豆の国市葦山葦山393

電話番号: 055-949-1061

令和元年10月28日発行

第35号

## 田方地区特別支援学級「なかよし交流会」で心がほっこり!



授業で様々な作品を丁寧に仕上げました。他の学校の展示作品も素敵でした。

伊豆の国市立葦山中学校長 手島雅恵

金子みすずさんの詩「私と小鳥と鈴と」の最後のフレーズ「みんなちがって みんないい」は誰もが一度は見聞きしている言葉だと思います。「人・もの・こと」全ては意味があってそこに存在し、それぞれの個性を精一杯発揮して自分のため、みんなのために生きています。小さく、さりげない幸せを、一人一人が大切にしていくなかであります。

私は、そうした人としての見方や考え方の原点に立ち返ることができる田方地区特別支援学級「なかよし交流会」を毎年、楽しみにしています。今年は修善寺南小を会場に、10/21(月)に行われました。葦中7組の子供たちも生き生きと参加していました。函南小、函南西小、葦山小、葦山南小、函南東小と一緒に披露した「パプリカ」というダンスでは、はじけんばかりのパフォーマンスを見せ、それを「全員での踊り」につなげていました。各学校の子供たち一人一人の満面の笑顔、心地よい緊張感、一言一言を大事にして分かりやすくみんなに伝えている姿、友達の発表を一生懸命聞き、賞賛の拍手を送る姿など、たくさんの贈り物もらい、感動で胸がいっぱいになりました。

学校では、子ども一人一人の「こうしたい」という教育的ニーズを捉えながら、「その子の持っている力を高めてあげたい」と、様々な支援方法を試行錯誤して関わりを持っている先生方の姿、支えてもらいながら努力し、「できる・分かる楽しさ」を実感しながら一つずつ学びを積み重ねている子供たちの様子が目に浮かんできました。学び続けていく先には人としての成長がはっきりと見えてきます。

そんなことを感じさせてもらいました。

困難を改善・克服しようともがいている子供たちに対して、大人はどうあればいいのか、意識を変えていくことが求められます。そして、子供たちを取り巻く社会がもっともっと優しくなりたいですね。





# 学習ボランティアの支援に感謝!

学習ボランティアとして地域の方々に補充学習の手助けをしていただいています。特に数学を苦手としている子供たちは「計算問題や文字式などは確実にできるようになりたい」という思いを持っています。基礎基本となる内容も個別対応でかなりの成果が出てきます。必死の子供たちの思いを受け止めて、親身に関わっていただいていることを有り難く思います。



## じっくり授業取り組んでいます!

青雲祭が終わり、子供たちの日常活動がもどってきました。学校教育の中心は授業です。子供たちには授業に力を入れ、しっかり学習内容を身に付けていってほしいですね。特に、3年生については進路選択が目の前に迫ってきました。焦ることなく、一つ一つのことを着実にこなしていくことが大事です。それは1、2年生も変わりありません。「塵も積もれば山となる」で毎日の努力を怠ってははいけませんね。自分自身のために頑張っていきましょう。



『読み語りは本の楽しいところを味わえます!』  
十月二十五日(金)、朝の読書の時間は「読み語り」を行いました。声色を変えたり、BGMによる演出をしたり、本の中の情景が浮かんでくるような暗唱であったりと、語り手は様々な工夫をしてくださっています。とても素敵な時間を共有している子供たち。



保護者の方からのご意見・感想  
( )年( )組( )  
(生徒名)

※体罰やいじめ等教育活動の中で気になる点や心配なことについても遠慮なくお知らせください。